

奈良経済産業協会

NARA ECONOMIC AND INDUSTRIAL ASSOCIATION

NEWS

令和8年1月 第80号



謹
賀
新
年



令和8年 年頭のごあいさつ



奈良県知事
山下 真

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

一般社団法人奈良経済産業協会の皆さまには、清々しい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より県政の推進にご理解とご協力を賜り、深く御礼申し上げます。

さて、去年は、大阪・関西万博の成功や奈良県出身の高市総理の誕生など、本県にとっては明るい話題が多くあったほか、私が知事に就任後、県の発展に向けて蒔いてきた様々な種が少しだけ芽を出し始めた一年となりました。

教育や子育て支援の分野で様々な政策に取り組んできた効果もあったのか、令和6年の奈良県の合計特殊出生率は1.19で、前年比0.02の減少となりましたが、この減少幅は全国で3番目に少なく、同出生率の全国順位も35位から30位へと上昇しました。

また、産業や観光の分野でも、令和6年の県内への新規の工場立地件数は46件で前年比18件の増加となり、全国順位も11位から6位に上昇しました。また、大阪・関西万博を訪れた外国人が万博と併せて訪問した場所で最も多かったのは、奈良公園がUSJ、大阪城、清水寺をおさえて堂々のトップでした。

もちろん、これらがすべて県の努力だけによるものではありませんが、特に大阪・関西万博の誘客などにおいては、県の取り組みが一定の効果を発揮しているものと思います。引き続き、子育てや教育の支援、観光客や企業の誘致に全力で取り組み、本県の潜在力をさらに引き出すことで、全

国に奈良の魅力を発信してまいります。

一方で、産業界を取り巻く環境は依然として厳しく、原材料費やエネルギー価格の高騰、価格転嫁の難航、賃上げや人手不足など、多くの課題があります。特に賃上げについては、昨年11月に最低賃金が1,051円に引き上げられ、過去最大の引き上げ額・率となるなど、物価上昇を上回る賃上げの流れが定着しつつあります。こうした状況において、県内企業が生産性向上や価格転嫁を進め、賃上げの原資を確保できる環境づくりが重要です。

このため、県では昨年6月に中小企業・小規模事業者の賃上げ環境整備に向け、価格転嫁対策の一層の強化などを経済産業省副大臣や公正取引委員会委員長に要望いたしました。

加えて、県内企業の課題やニーズに基づく産業施策を進めており、人材確保の抜本的強化や省力化・生産性向上に資する設備投資に対する補助、事業承継の支援などに取り組んでいます。さらに、取引や雇用面での企業価値向上を後押しすることを目的として、「奈良県SDGs企業認証制度」を新たに創設し、初年度となる昨年度は、122社を認証しました。

蒔いた種が花を咲かせ、実を結ぶには長い年月が必要ですが、本県の持つ可能性を最大限に引き出し、県民の皆さまが暮らしの豊かさを実感できる奈良県にするために取り組みを加速化させます。

これからも、県民の皆さまのご意見やご提案に耳を傾け、力を合わせてより良き未来を築きたいと考えています。中でも本県を代表する企業の集まりである貴会の果たす役割は大変重要なものと考えております。地域の知恵・技術の取りまとめ役として、新たな事業機会の創出に挑戦いただくなど、更なるご活躍を期待申し上げるとともに、今後とも本県経済発展に向けた重要なパートナーとして県政へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆さまにとって健康で幸多い年になりますよう心から祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ



一般社団法人奈良経済産業協会
会長 平越國和

新年あけましておめでとうございます。

本年が皆様方にとりまして、良い一年でありますよう心よりご祈念申し上げます。

さて昨年は、奈良にとって大変喜ばしいことがございました。高市早苗先生が、女性・奈良県初の自民党総裁、そして、日本憲政史上初の女性首相・奈良県初の首相として、内閣総理大臣にご就任されました。誠に喜ばしい限りです。

高市先生は、国家議員になられた当初から、産業育成にご理解が深く熱心に取り組んで頂いております。

国内外には課題が山積する中、日本国の発展と国民の安全・安心に向けて、一層ご手腕を発揮されますことを期待したいと思います。

高市先生が以前、自民党のサイバーセキュリティ対策本部長の時に、当会総会の記念行事にご来賓としてご臨席頂き、「企業の情報が流出すると取引先等との信用が大きく失われる。セキュリティ対策はコストでなく、信用を失わない投資と考えて、取り組んでほしい」とご挨拶を頂きました。

現在、AIの能力が急速に上昇する中、多くの分野・業務で活用され、今後一層利用が拡大していく上で、DX・AI活用におけるセキュリティ対策は大変重要な課題であり、今思い出しますに、正に時代の先を見据えた金言であったと思います。

実際、昨年に大手飲料メーカーがサイバー攻撃を受け、出荷がほぼ停止した事案がありました。

同社は、十分に対策を取っておられたと聞きますが、その様な企業でも大きな被害が出たことで、どこまでやれば？と不安になります。起きた場合を想定した早期復旧対策が重要だと考えます。

これは他の経営課題と同じで、闇雲にリスクを心配してコストを掛けるだけではなく、リスクをヘッジし、コストを価値に転換していくことが、経営者として真価が問われるところです。

同様に、人手不足で人件費が上昇していく中で、人材に対してもコストでなく投資だと言えます。

即ち、経営における重要な“資産”と考える必要があります。

会社が成長していくエンジンは人材であり、人材の育成は企業成長への投資であると考えます。

現在の国内経済に目を向けますと、円安が一層進み、原材料・エネルギー費をはじめとする物価上昇が衰えず、また深刻な人手不足・人件費上昇は、非常に大きな経営課題となっています。

これらの課題を解決していくためには、DX/AIの活用が不可欠であり、DX（デジタルトランスフォーメーション）は、企業風土の変革を実現させることであり、これまでの仕事の仕組み・やり方そのものを変革していくことであります。

これらの課題を克服していくのが人材であり、人材のマネジメントが一層重要となります。

そのため、人材が活き活きと活躍できるよう、モチベーションの向上に繋げる企業風土の醸成や納得性の高い人事制度の構築が重要になります。

当会では、人材に関する様々な課題に対して、人材の確保・育成・定着に向けて一層注力して、体系的かつ多角的に取り組んで参ります。

本年も微力ながら、奈良県産業の振興・発展に誠心誠意取り組んで参りますので、皆様のご協力ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



国内産業視察

総務委員会主催 (R7.11.5・6)

今年の産業視察は11月5・6日に大分県国東市・宇佐市・中津市を訪問し、下記の通り、特徴ある企業3社様の取組事例を現場・現物で学ぶと共に、大分県の歴史・文化を幅広く学びました。

福沢諭吉先生が少年時代を過ごされた中津市にあります福澤諭吉旧居・福澤記念館の見学と共に、八幡宮の総本社である宇佐神宮を参拝しました。

宇佐神宮の八幡神は、奈良・東大寺の大仏建立に協力の託宣を出され、建立後も東大寺を護る神として手向山八幡が分霊され祀られておられます。

私共奈良とも非常に縁が深くある神宮であり、今でも宇佐神宮と東大寺では深い交流がなされていると伺い、貴重な機会となりました。



1日目：11月5日（水）

ニュージャパンマリン九州(株)（大分県国東市）

同社は、11m級までのプレジャーボートや自衛隊の搭載艇等を製造販売されています。

この分野では、大手二社と同社だけであり、OEMで提供するなど、設計から製造までを一貫した生産がなされています。

実際の成形では、型にFRPを何層にも重ねて貼り付けて形作られ、品質のために脱泡（空気を押し出す）作業は経験が必要なスキルとのこと。

また、船底部の強度を持たせる部材の組み方が、各社特徴が現れるブラックボックスと伺いました。

当日は、船底からデッキ部の各工程を見学させて頂き、普段見られない、船艇が作り上げられる工程を拝見して大変参考になりました。



ヘルメット潜水(株)（大分県国東市）

同社は、創業時は社名通り送気式潜水服・ガラス窓のついたヘルメット等を販売されておられ、現在はウェットスーツ素材を使った自社ブランドのオリジナル商品を製造・販売をされています。

特に、防水性や保温性を活かした湯たんぽは、従来型の形状に加え、加工が自在にできるので、足・首を温める用など多種多彩な形状の“湯たんぽ”や電子レンジで加温できるタイプなど様々な商品を展開されています。

製品を貼り合わせる接着剤はお湯で温度が高くなると剥がれ易くなるため、メーカーと共同開発して、実用化に繋がたと伺いました。



2日目：11月6日（木）

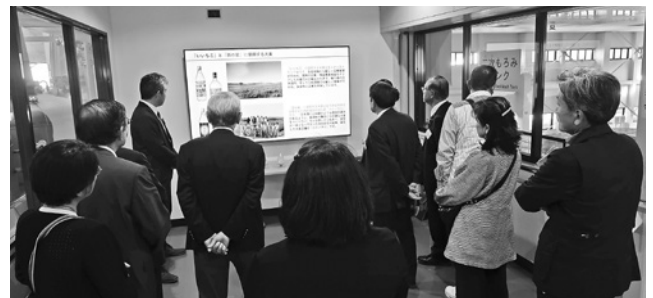
三和酒類(株)本社工場（大分県宇佐市）

同社は、「下町のナポレオン」の愛称でお馴染みの麦焼酎「いいちこ」をはじめとして、清酒・ワイン等を幅広く手がける酒類企業であります。

当日は、代表取締役専務の熊埜御堂康昭様から、複数の酒蔵が参加し設立され、日本酒から始まりワイン作りを経て、麦焼酎いいちこを1979年に発売されたこと、また会社の目指すところを、社員に理解してもらうため、企業風土の醸成に取り組んでいる事例等を詳しくご解説頂きました。

本社工場では、いいちこの味を作る上で様々なタイプの原酒を、特別に試飲させて頂きました。

また、いいちこの紙パックの生産ラインを拝見し、非常に高速に注入・包装される様子は圧巻でした。



経営者懇話会

人材育成委員会主催 (R7.11.26)

令和7年度第1回目の経営者懇話会として、関西電力㈱奈良支社様のご厚意により、福井県美浜町にあります美浜原子力発電所を見学させて頂きました。

美浜発電所は、昭和45年に日本の加圧水商業炉としては最初となる1号機が営業運転され、以来2・3号機と運転を継続されておられ、現在は、1・2号機の運転は終了し、3号機のみ稼働しており、電力を安定供給されておられます。

関西電力㈱美浜原子力P Rセンター 館長の上原浩様から原子力発電の仕組みや美浜発電所の歴史についてご説明頂きました。

原子力発電は、ウラン燃料を使って電気を作り出しているため、放射線や放射能物質が漏れないよう細心の注意を払っておられます。

「機械は故障し、人はミスを犯す」という考え方を前提に、故障やミスを想定した対応や取組を行っておられ、計画的な点検や検査だけでなく、事故を想定した訓練を行う継続的に行うことで安全性を確認しておられます。

なお、運転を終了した1・2号機においては、日本では初めてとなる加圧水型原子炉の廃止措置を安全最優先で進めておられます。

続いて、実際の発電所内の見学では、専用バスに乗り、セキュリティ・安全対策のために車内から実物の建屋を拝見すると共に、VRゴーグルを使用して、普段立ち入る事のできない建屋内部の状況を疑似的に見ながら、随所で解説頂くことで、原子力発電の仕組みを具体的に理解することができました。

普段何気なく使用している電気が、徹底した安全管理の元でどのように作られているかを勉強させて頂き、良い経験となりました。



関西電力㈱
美浜原子力P Rセンター
館長 上原 浩 氏



提案型営業手法

人材育成委員会主催 (R7.11.6)

営業活動の改善は、業績の向上に留まらず、営業活動の生産性向上にもつながる重要な視点です。

顧客にマッチした提案営業の考え方と実践方法を学ぶために「提案型営業手法」セミナーを開催しました。

講師は、企業の戦略立案、営業活動や手法の指導、管理監督

者・現場担当者の人材育成等でご活躍されているSAP 代表 松本 治 様にお願ひしました。

顧客への提案と業績との相互の関連を整理して、実際の提案内容が顧客に取って、どのようなメリットがあるのかを具体的に提示することの大切さと共に、提案・商談をどう進めていくことをしっかりとイメージした営業活動を進める重要性について、事例を上げてご指導頂きました。

営業手法をはじめ、顧客に受け入れられる価値(商品)を見極めて提案できる力量が求められることから、顧客がどのような課題を抱えているかを把握する方法を学びました。

顧客課題に対して、自社の営業戦略と連動させながら、どのような提案ができるか、また、他社との競争優位をいかに確立するかを考えながら、営業活動を進めていく一連の流れを実践的に演習も交えながらご解説頂きました。

また、顧客との途切れない交渉術として、単に「はい」「いいえ」で答えられる質問ではなく、「A」か「B」か顧客の考えや課題を引き出していく質問のあり方を考え、如何に商談を継続して進めていくテクニックを学びました。

今後も、価値を提案していく営業に向け、体系化・標準化による営業活動の生産性向上や、営業人材の育成に役立てて頂けるよう、取り組んで参ります。



SAP
代表
松本 治 氏



～松田電気工業株式会社～



代表取締役
奥村雅英氏

<企業情報>

会社名：松田電気工業株式会社

設立：昭和 30 年

住所：〒 635-0064

大和高田市栄町 4 番 33 号

社員数：110 名

業 種：総合設備工事業

URL：https://www.matuda-dnk.co.jp



本 社

社長様のインタビュー

Q 1. 創業された経緯と事業内容

当社は、昭和 30 年に創業者である松田利治が大和高田市においてマツダ電気店として創業いたしました。創業当時は小さな家電販売店としてスタートしましたが、時代の流れとともに、電気設備、電気計装、情報通信、防災、空調、給排水など総合設備会社として成長してまいりました。

Q 2. 当社の強み

建設業界では、実際の作業を専門の下請け業者に委託するケースも少なくない中、当社では、経験豊富な設計者や施工管理者、そして高い技術力を持つ作業員が在籍しており、お客様のご要望に一貫して対応できる「ワンストップ体制」を構築しております。そのため、迅速かつ柔軟に、責任を持って高品質なサービスの提供が可能となっております。

さらに、業歴に裏打ちされた強固な営業基盤、高い信用力、そして良好な財務内容により、安定した事業運営を実現しております。

これらの技術力や企業としての安定性により、お客様に安心してご依頼いただける点が、当社の大きな強みです。

Q 3. 当社の人材育成・技能伝承または働きやすい職場づくり等のお取り組みについて

当社では、資格取得を奨励しており、講習・受験費用などの助成を行い全面的に支援しております。そして、取得資格に応じた手当を支給しております。取得した資格は待遇面の改善だけでなく、

従業員にとって一生の財産となります。

また、従業員やその家族の健康を考え、職場環境の改善や年間休日の増加等に取り組み、安全で働きやすい環境づくりを進めてまいりました。

そして、新たに次世代を担う人材確保と育成の一環として、新採用プロジェクトの構築と企業内大学の設立に向けた取組を進めております。

これにより、社員一人一人が技術と知識を深め、また人間力を高める事によって、技術者として、そして一人の人間として成長できる環境を整えてまいります。

Q 4. 今後の事業展開について

70 年という長い歴史の中で、地域の皆様やお客様から一定の信頼をいただけてきました。これからも「地域に根差し、信頼される企業」であり続けるために、技術力の向上とサービスの充実に努めていくことで、経済や社会がどのように変化しようとも揺らがない、真に強くしなやかな会社を築きたいと考えております。

そして、技術力だけでなく人間性も含めて評価されるような、そんな企業文化を持つ会社を目指しております。

創業 70 周年の節目を迎え、「技を極め ともに、まっすぐ、一歩ずつ 人々の幸せを追求する」という新たな経営理念のもと、これまでの 70 年を大切にしつつ、未来に向けてさらに前進してまいります。

Improve MATSUDA

100 年企業をきみと創る！

成果を上げる業務改善

人材育成委員会主催 (R7.11.11・27)



くぼつ経営研究所
代表
窪津正充氏

業務プロセスを見直し、改善の考え方や着眼点、具体的な進め方を学び生産性向上を図るため、(独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構【ポリテクセンター】様の委託を受け、生産性向上支援訓練「成果を上げる業務改善」を実施しました。

講師は、くぼつ経営研究所代表の窪津正充様にご指導頂きました。

した。

現場の業務改善を行う上で、業務を可視化してムダを顕在化することが重要であり、7つのムダの意味・考え方をご解説頂きました。

特に、動作・運搬・停滞のムダは改善効果が大きいので、現場の課題のを見つけ方や改善の取組事例をもとに、具体的にご指導頂きました。

業務の可視化ツールとして、カントチャートや業務フロー図、流れ線図の意味や使い方と共に、演習として巻き紙分析を行いました。

課題の設定から業務の進行を書き出し、課題を深掘りして、改善の流れを具体的に学びました。

また、実際の生産現場における作業の様子や部品の着荷場を事例にして、そこに潜むムダを見つけて出し、その対策を考えながら、ムダを見つける目と改善の視点を養いました。

グループ演習では、『一番多いムダ』について、グループで話し合いながらテーマを絞り改善案を検討しました。課題やムダについて、現状分析から特性要因図を作成して、課題の要因を整理しながら、改善の手順に沿って具体的に改善を考えて発表する等、業務改善に直結した役立つ内容で実践的に行いました。

今後は「原価管理とコストダウン」をテーマに、原価の仕組みの理解や工程・作業を見直したコスト削減により生産性向上へ繋げるよう実施します。



大学・企業懇談会

人材育成委員会主催 (R7.11.18)

企業の人事担当者と大学の進路指導担当者との理解と交流を深め、今後の人材確保に役立てるために「大学・企業懇談会」を開催致しました。

冒頭、事前に実施した大学と企業双方へのアンケート調査結果の報告と共に、(株)マイナビ 就職情報事業本部 岡野久美子 様から「今期 2025 年の就職・採用状況と来期 2026 年の展望」についてご報告頂きました。

岡野様からは、「新卒採用については、人件費上昇の影響もある中、昨年度と同じぐらいの採用を予定する企業が多く、労働時間短縮への対応・人手不足解消のため、新卒採用の意欲も上昇している。学生の内々定率の進捗は昨年と同水準で推移している。学生は将来の不安から、生活に繋がる福利厚生の実を求めており、企業にとっては、安心して働ける環境づくりが採用に繋がっていくので重要である。」と解説を頂きました。

意見交換会を行い、大学側からは、「内定時期が早くなる中、内定辞退が出ないようにどのような取組をされているのか」という質問、企業側からは、「内定者同士・先輩社員との懇親会を複数開催し交流を深めている」との回答がありました。

企業側からは、「コミュニケーション力が乏しい学生への就職活動支援」について質問があり、大学側からは、「面接準備における指導や模擬面接の充実に取り組んでおり、実際に内定への成果を上げている」との回答がありました。

また、双方に情報交換を図る名刺交換の場も設定しました。

企業側はパンフレットを配布して熱心にPRを行うなど、次期の採用活動だけでなく、今期の採用も含めて熱心に交流頂きました。



(株)マイナビ
就職情報事業本部
岡野久美子氏





人事・労務の勉強部屋（第 36 回）

～労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部改正について～

「労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律」が令和 7 年 5 月 14 日に公布されました。下記の通り、各項目で段階的に施行されますので、必要な事前準備等のご確認をお願いします。

<令和 8 年 1 月 1 日施行>

○機械等による労働災害の防止の促進等（労働安全衛生法）

- ・民間の登録機関の義務の適正な遂行を担保するため、適切な登録要件の設定、要件に適合しなくなった場合の行政処分などの仕組みを整備する。
- ・民間の登録機関の不正防止のための措置その他の所要の改正を行う。

<令和 8 年 4 月 1 日施行>

○化学物質による健康障害防止対策等の推進（労働安全衛生法、作業環境測定法）

- ・化学物質の成分名が営業秘密である場合に、一定の有害性の低い物質に限り、代替化学名等の通知を認める。
なお、代替を認める対象は成分名に限ることとし、人体に及ぼす作用や応急の措置等は対象としない。

○高齢者の労働災害防止の推進（労働安全衛生法）

- ・高年齢労働者の労働災害の防止を図るため、高年齢労働者の特性に配慮した作業環境の改善、作業管理その他の必要な措置を講ずることを事業者の努力義務とする。
- ・厚生労働大臣は、事業者による措置の適切かつ有効な実施を図るため必要な指針を定め、当該指針に従い、事業者又はその団体に対して必要な指導、援助等を行うことができるものとする。

○機械等による労働災害の防止の促進等（労働安全衛生法）

- ・製造許可申請の審査のうち特定機械等の構造に係る基準の審査について、民間の登録機関が行えるようにする。
- ・製造時等検査について、移動式クレーン及びゴンドラも民間の登録機関が行えるようにする。

<令和 8 年 10 月 1 日施行>

○化学物質による健康障害防止対策等の推進（労働安全衛生法、作業環境測定法）

- ・個人ばく露測定について、作業環境測定の一つと位置付け、作業環境測定士等による適切な実施の担保を図る。

<令和 9 年 1 月 1 日・令和 9 年 4 月 1 日施行>

○個人事業者等に対する安全衛生対策の推進（労働安全衛生法）

- ・既存の労働災害防止対策に個人事業者等も取り込み、労働者のみならず個人事業者等による災害の防止を図るため、
 - ①注文者等が講ずべき措置（個人事業者等を含む作業従事者の混在作業による災害防止対策の強化など）を定め、併せて ILO 第 155 号条約（職業上の安全及び健康並びに作業環境に関する条約）の履行に必要な整備を行う。
 - ②個人事業者等自身が講ずべき措置（安全衛生教育の受講等）や業務上災害の報告制度等を定める。

※詳細は厚労省HPを参照下さい。(https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001497667.pdf)

事務局だより

新入会員様ご紹介

心和建設株式会社

正会員

所在地：〒639-1104

大和郡山市井戸野町 304-1

代表者：代表取締役

浅田 和俊

資本金：500 万円

URL：https://www.sinwabuilding.com/

事業内容：総合工事業

一般土木工事

第 30 回新入社員研修会

会員企業の新入社員の方々を対象に、「給与を貰って働く社会人としての心構えとスキルを持ちながら、意欲高く仕事を行っていく」ことをねらいとして、新入社員研修会を実施します。

各社単独で導入教育を実施することが難しい中で、集合研修として、社会人としての基本行動と質の高い仕事の進め方について、独自のカリキュラムを設定しております。

今回も、期待にそえる充実した内容で開催致します。

記

と き：令和 8 年 4 月 6 日（月）・7 日（火）

9：00～16：30（2 日間とも）

場 所：奈良県産業振興総合センター

参加費：17,600 円／人

（参加費 16,000 円消費税 1,600 円）

（テキスト・昼食代含む）

申込み：3 月 20 日までにお申し込み下さい。

新入社員研修・実践編

☆新入社員が知っておくべき現場の基礎知識

“現場の安全・品質・改善”基礎講座

☆新入営業社員のための営業の基礎知識

営業の目的と役割を学ぶ“営業の基本”研修

上記研修も予定いたしております。

品質 ISO 内部監査員養成講座

品質マネジメントシステムの国際規格である ISO9001：2015 は、認証登録時はもとより、継続維持活動においても効果的な内部監査の実施、運用が必須になっております。

内部監査員の増員養成、監査員の更なる力量向上、及び、ISO に関係する社員・責任者の認識を補完を目的に、本年も標記内部監査員養成講座を開催致します。

貴社の ISO 認証・維持活動、品質保証活動にお役立て頂きますようご案内申し上げます。

記

と き：令和 8 年 2 月 5 日（木）・6 日（金）

9：30～16：30（2 日間とも）

場 所：奈良県産業振興総合センター

参加費：26,400 円／人

（参加費 24,000 円消費税 2,400 円）

（消費税・テキスト含む）

申込み：1 月 23 日までにお申し込み下さい。

コーチング研修

管理者・リーダーに求められる役割の中で、対話によるコミュニケーションを元に、部下のやる気を引出し、自発的行動を促して、目標を達成までサポートしていくことは大変重要な役割の一つです。

部下・後輩の能力とやる気を引出し、自ら行動できる自律型人材の育成に向けて、「聴く力」「対話する力」「相手を知る観察力」等のスキルを学びます。

是非、貴社の管理者・リーダーの人材育成・教育訓練にご活用ください。

記

と き：令和 8 年 2 月 19 日（木）

13：00～17：00

場 所：奈良県産業振興総合センター

参加費：5,500 円／人

（参加費 5,000 円消費税 500 円）

申込み：2 月 5 日までにお申し込み下さい。

謹賀新年

株式会社丸國林業

取締役会長 平 越 國 和

〒639-0224 香芝市別所5番地
TEL(0745)77-8431

株式会社イムラ

相談役 井 村 守 宏

〒542-0076 大阪市中央区難波五丁目1-60
なんばスカイオ18階
TEL(06)6586-6121

関西電力株式会社 奈良支社

理事 支社長 紀 ノ 岡 幸 次

〒630-8131 奈良市大森町48番地
TEL(0742)27-1276

共同精版印刷株式会社

代表取締役社長 近 東 宏 佳

〒630-8013 奈良市三条大路2丁目2-6
TEL(0742)33-1221

株式会社きんでん 奈良支店

常務執行役員支店長 安 田 守

〒630-8133 奈良市大安寺6丁目20番8号
TEL(0742)62-8771

第一化工株式会社

代表取締役社長 小 西 淳 文

〒630-8453 奈良市西九条町5丁目4番9号
TEL(0742)50-2222

大和ハウス工業株式会社 奈良工場

工場長 西 本 武 志

〒630-8453 奈良市西九条町4丁目2-2
TEL(0742)64-1500

DMG森精機株式会社

取締役社長 森 雅 彦

〒630-8122 奈良市三条本町2番1号

ナテック株式会社

代表取締役社長 濱 田 吉 宏

〒630-8453 奈良市西九条町5丁目4-5
TEL(0742)62-1181

奈良交通株式会社

代表取締役社長 田 中 耕 造

〒630-8651 奈良市大宮町1丁目1番25号
TEL(0742)20-3116

株式会社南都銀行

取締役専務執行役員 杉 浦 剛

〒630-8677 奈良市大宮町四丁目297番地の2
TEL(0742)27-1550

以上、11社に協賛広告としてご協力頂きました。

奈良経済産業協会NEWS 第80号

令和8年1月発行
一般社団法人奈良経済産業協会

〒630-8031 奈良市柏木町129-1 奈良県産業振興総合センター内
TEL(0742)36-7370 FAX(0742)36-7371
<http://www.nara-eia.or.jp> E-mail : info@nara-eia.or.jp